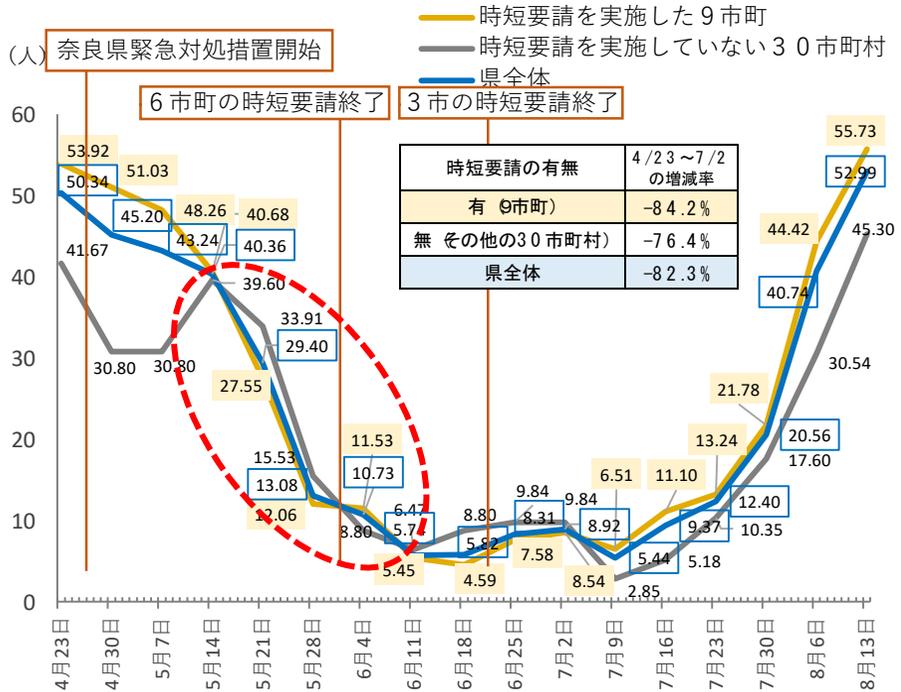


飲食店に対する時短・休業要請の有効性②（奈良県の状況）

人口10万人あたり新規感染者数の減少率において、時短要請の有無による顕著な差はなし。

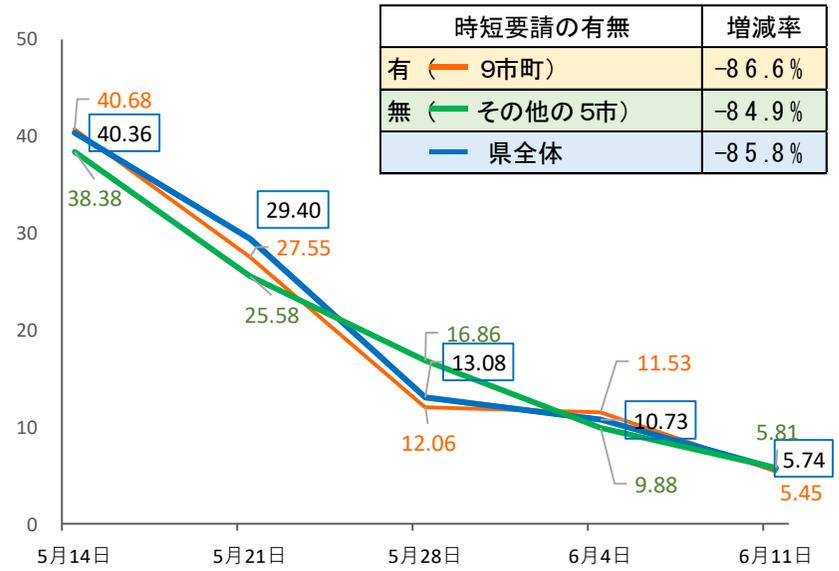
奈良県における時短要請を実施した9市町と、時短要請を実施しなかった30市町村の人口10万人あたりの新規感染者の減少比較



人口10万人あたり新規感染者数の減少率（4月23日～7月2日）
 時短要請を実施した9市町、-84.2%（53.92→8.54）
 時短要請を実施しなかった30市町村
 -76.4%（41.67→9.84）

* 時短要請を実施した県内9市町（時短要請期間）：奈良市（4/28～6/20）、天理市・生駒市（5/1～6/20）、大和郡山市・香芝市・王寺町・広陵町（5/1～5/31）、大和高田市・橿原市（5/2～5/31）
 * 増減率：（7月2日最近1週間の対人口10万人の新規感染者数÷4月23日最近1週間の対人口10万人の新規感染者数-1）
 * 奈良県報道発表数値を基に作成 * 新型コロナウイルスの潜伏期間 1～14日間程度（WHO）。

奈良県における時短要請を実施した9市町と、時短要請を実施しなかった5市の人口10万人あたりの新規感染者の減少比較



人口10万人あたり新規感染者数の減少率（5月14日～6月11日）
 時短要請を実施した9市町 -86.6%（40.68→5.45）
 時短要請を実施しなかった5市 -84.9%（38.38→5.81）

* 9市町（奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、生駒市、香芝市、王寺町、広陵町）、
 その他の5市（桜井市、五條市、御所市、葛城市、宇陀市）
 * 増減率：（6月11日最近1週間の新規感染者数÷5月14日最近1週間の新規感染者数-1）

地域によっては飲食店等への時短要請等の効果が明確ではない。効果分析が必要。